

2001年までの記事

Karate-Koshodo Renmei

空手古書道連盟

2001年 空手古書総括



2001年は、空手古書道連盟にとっては最高の収穫年でした。日々の古書店まわりとデパートでの古書展覧会でもいい出逢いがありました。又、送付されてくる目録からの購入とネットからの購入も増えた一年でした。

8月と12月の東京地区のデパート古書展も足を運びました。特に、6月の神田神保町である店にて大量な貴重古書が並べられた直後に遭遇した。30分程その場で古書まみれになったが、空手古書の神様と出逢った一日であった。たくさんの古書を手に入れたが、一部を列記します。「先手非道の空手道、柔術秘伝図解、機関紙・拳武道、これがカンフーだ、玄和、合気柔術入門、正伝合気道、沖縄の空手角力名人伝、図説古武道史、空手道大宝鑑、柔道一路、体道、空手道講座、武道学研究、武道と認識の理論3、松涛館60年のあゆみ、日本武道必殺技物語、一騎名勝負劇場、唐手拳法、空手道入門・・・」

又、新刊書でも良書が多々出版された一年でもありました。「空手道歴史年表、空手、板垣恵介の激闘達人列伝、梶原一騎伝、意拳学、新格門・創刊号、パーリトゥード空手、極真魂、真空飛び膝蹴りの真実、ざまあみる立嶋篤史自伝、空手とロマンの人生、大道塾20年のあゆみ、MOVING ZEN、キックの鬼全3巻、必死の力必死の心、秘伝日本柔術、図説中国武術史、沖縄空手列伝百人・・・」

映像ものでは、「ビデオで、永遠なる武道、自成道・新空手理論、太気拳実戦戦闘理論、極真戦士・南里宏、DVDで、山崎照朝の実戦空手、闘え！ドラゴン、VCDで意拳、LDで、地上最強のカラテ、8ミリで地上最強のカラテ、けんか空手極真拳・・・」サイン色紙にも恵まれました。「中村日出夫、時津賢児、浅井哲彦、南里宏、大西端人、中村頼永、板垣恵介、影丸譲也、千葉真一・・・」ほとんどは、直接いただいたもので記念写真も撮り始めました。

2001年は、本当に空手古書の神様に愛された一年でした。年末に、韓国版の「空手バカ一代」である「大野望」を手に入れました。（Kさん、いつもありがとうございます。）

近々、ご紹介します。

速報 「秘伝」2002年2月号にて、当ホームページが紹介されています。併せて、御覧下さい。

空手道講座 日本空手道普及会編 東京
書院



空手技術書。巻頭8ページに写真だけのページがあり、本文はイラストで紹介。日本空手道普及会は、現在の組織は不明。この本では、基礎篇、演武実技篇では流派にこだわらず空手の基本を「基本の型」として独自に考案しており12の型を紹介。突き、受け、蹴り、転身法、立ち方を組み合わせたものである。そして、一般的な太極初段も載っている。応用篇として、棒術、白刃捕り、投げ技も解説。多流派ある空手に懸念しており、空手はどれも同じであるとうたっている一冊である。

けんか空手 昭和37年

8ミリフィルム極真拳



こんなのも当時あったんですね。ビデオは、全長版と短縮版がありました。是非、「けんか空手 極真拳」と「けんか空手 極真無頼拳」と「空手バカー代」の70年代・東映・千葉真一・極真空手3作品のDVD - BOX発売を待望します。

富士写真フィルム

中国少年武術代表团 訪日公演プログラム 日本中国文化交流協会 1974年



日中国交2周年を迎えて、初めての中国武術団の日本公演。ちょうどブルース・リーブームの頃です。9月から10月の1ヶ月間で、東京、金沢、新潟、長野、群馬、浦和で公演。驚くのは、後に映画「少林寺」、「武林志」、「燃えよカンフー」などで有名になる武術家(胡堅強、劉懷良、李志洲、王建軍、郭志華など)が多々来日していたことだ。当時、彼等は小中学生だった。この公演の映像が残っていたら貴重である。

山元勝王 空手とロマンの人生



実戦空手養秀会の山元勝王会長の評伝。空手人生50年を綴られた一冊。インターネットで本のことを知ったが、自費出版ゆえ書店には置いておらず、養秀会本部から入手。空手家・山元勝王といえば虎殺しで知られている。昭和54年に行われた6時間半に及ぶ虎との激闘も詳しく書かれている。生い立ちから近況まで、豊富な写真とともに作られている。全196ページ。

みき書房(北九州市) 2001年

空手道鍛練三ヶ月 祝嶺制献著 日本文芸社



深見東州 爆笑対談 たちばな出版 1995年



沖縄空手列伝百人

外間哲弘著 2001年



表紙の違うシリーズ3。昭和50年発行(写真右)と昭和57年発行(写真左)。著者は玄制流空手創始者で、躰道創始者でもある。3ヶ月間で試合ができるまでマスターするべく構成されたユニークな空手技術書。空手論も読みごたえがある。以前、祝嶺先生に会った時に握手をしていただいたことがある。ゴムまりのような柔らかさと力強さのある手で、あの感触は忘れられません。祝嶺制献先生が平成13年11月26日にお亡くなりになりました。慎んで御冥福をお祈り致します。

ワールドメイトリーダーとして宗教活動で著名な深見東州。ドクター中松、毒蝮三太夫、村松友視、床野真代、せんだみつお、そして大山倍達の6人との対談集。大山倍達との対談は平成元年9月3日、千代田公会堂にて。深見氏いわく、大山倍達の前世は織田信長に加勢した四国の村上水軍の頭領とのこと。宮本武蔵ではなかった！又、守護神は山で天狗を押える大山祇の神とのこと。「空手バカー代」で山ごもり時代に村の人達から天狗と思われていたくだりを思い出しました。対談の終わりに「神棚にお祭りするのでサインをください。」とおねだりする総裁。大山倍達の求められたサインは数知れずで、求めたサインはいかほどであったのか。この本の類書に以前に紹介した「無学盲目体当たり」という対談本があります。

著者による自費出版。空手研究では著名な著者による一冊。題名通りの内容。写真、書画、新聞の記事、図が豊富に使われている。松村宗昆、糸洲安恒、東恩納寛量、富名腰義珍、本部朝基、上地完文、知花朝信、宮城長順、摩文仁賢和、儀間真謹、長嶺将真、宮里栄一など、そして嘉納治五郎も網羅されている。自費出版にしておくにはもったいない書籍である。

写真でおぼえる空手の習い方 金城裕著

有紀書房
表紙の違うシリーズ2



昭和43年発行(写真右)と昭和52年発行(写真左)。金城裕先生は、糸州安恒の空手道を受け継ぎ、正統派空手の普及と研鑽に尽くしています。この本は、金城理論と技術の詰まった一冊。又、金城裕先生には、空手古書道連盟にご理解と支援をしていただいています。

8ミリフィルム

地上最強のカラテ

大沢商会



あの「地上最強のカラテ」の8ミリフィルムを発掘。フィルムとカセットテープ付。ビデオ、LD、DVDとして発売されており、映像ソフトのロングセラー作。でも、映写機がないので見れません。カセットを聞いて我慢します。

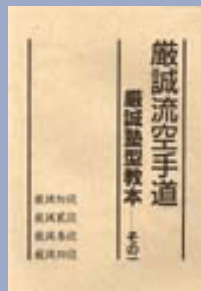
空手道黎明拳舎 第5回大会 プログラム 2001年10月
新・空手道 金沢弘和著 日東書院



先の厳誠塾から独立した、千葉県にある空手団体。10周年記念大会も兼ねた大会。小中学生の組手試合と型演武が中心。手作りのほのぼのとした大会。

同じ本でも内容の違う改訂版があったり、表紙が違う本を多々見かける。昭和52年発行(写真右)は日本空手協会師範であったが、昭和55年発行(写真左)の6版時は、国際松濤館空手連盟弘道會館長となり表紙も替えられている。この本は、基礎、基本、型、組手、武器術と空手を全般に網羅した技術書。

厳誠流空手道 厳誠塾型教本 その一 厳誠流空手道総本部道場技術部 1986年



知る人ぞ知る厳誠流空手道の教則本。厳誠塾は、入門案内によると「沖縄少林流と柔術の融合によって派生した流派」と説明されている。実際は、70年代の学生運動時代に機動隊と闘っていた空手集団であり、当時は信濃忍拳古修流空手郡とよんでいた。厳誠塾出身で太気拳で活躍している練士や総合格闘技の空手団体、キックボクサーなどがいる。現在の組織としては、東京、広島、岡山、長野、静岡、金沢に支部がある。現在の体系は、3代目宗家である田中将護師範によってまとめられた。立ち方と型は伝統空手からの流れにみられる。この教則本で紹介されている厳誠の型はまったくのオリジナルである。又、組手の激しさは、素面で顔面・金的を当てることで過激な流派として知られている。

「キックの鬼・沢村忠」情報プラス「梶原一騎」情報

9月下旬に「真空飛び膝蹴りの真実 キックの鬼・沢村忠伝説」加部究著 文藝春秋発売 1400円がでます。初の評伝本です。又、10月下旬にマンガ「キックの鬼・沢村忠物語」道出版発売が復刻されます。先月から衛星テレビの東映チャンネルでアニメ「キックの鬼」が放送されています。再び、「キックの鬼と沢村忠」が熱い。又、梶原一騎作品の復刻が相次ぎます。「タイガーマスク」~5巻 講談社漫画文庫各750円。「斬殺者」上・下 ソフトマジック 各1800円 「おとこ道 悪童編・青春編」道出版 各1000円。いずれも9月発売予定。

倉庫？
2001夏の古書展覧会雑誌



007は2度死ぬ ワーナー 1967年制作
マス大山空手スクール 会員証・カセットテープ教材



キミも強くなれる！「実用ボクシング」のすすめ 橋本
征男著 創栄出版 平成元年
梶原一騎ワールドPART2 平成13年



秋です。実りの秋。「なし」の季節。「なし」のダンボールは本を保存するには最適である。この時期にしかないので毎年、なしダンボールを集めて廻ります。さて、空手古書道連盟の倉庫2ヶ所(正確にはトランクルームです。)では、このなしダンボールが240箱ほどあります。中は雑誌、漫画本、漫画雑誌、ビデオテープがほとんどです。探しているものを取り出すのは困難な業です。一日も早く「現代カラテ図書館」の開設が待望されます。毎年8月は、東京のデパートで古書展覧会が多くある。新宿京王百貨店、新宿小田急百貨店、川口そごう、新宿伊勢丹、渋谷東急百貨店へ行ってきました。事前の目録でも申し込みをしたが、今年はずれが多々ありションボリ。今回、入手した一部として「空手道大宝鑑、ゴング・キック特集号、体道、柔道百年の歴史、松涛館60年のあゆみ、沢村忠原稿・我が師」を展覧会にて購入。なかには2冊目もある。又、この月に入手したのとして「柔道一路(昭和30年・昭和40年発行の2冊)、ジブシートレーナー(エディ・タウンゼントサイン入り)」など。新刊では、「パーリトゥードKARATE、極真魂、MOVING ZEN、新格門・創刊号」など。増殖する本に追われています。

映画評論のページになったわけではありません。007シリーズで日本が舞台になった作品です。ボンド役のショーン・コネリーは極真会館にて空手を練習したことも知られています。さて、この映画で丹波哲朗が率いる忍者軍団が登場します。ビデオでは隠れの武術と呼び、空手、居合、手裏剣、剣道、剣術、棒術がでできます。特にみどころは、藤平昭雄(キックボクサー大沢昇)によるスイカ貫手割りと氷柱頭突き割りが3~4秒ながら見られます。34年前のわずかなシーンであるが、まぎれもなく藤平昭雄出演の映画である。この撮影のため、一週間程姫路へ行ったらと大沢食堂で聞きました。

空手グッズのページになったわけではありません。「空手バカー代」全盛期に道場へ通えない青少年のためにあった極真カラテ通信教育講座。テキストは全7冊。それに附随する教材として、当時はカセットテープがあった。今では、ビデオが付くのだろうが。カセットは真樹日佐夫師範代の号令に道場生がついていく内容。是非、これのCD復刻を実現させたいものである。Sさん、ありがとうございました。

この表紙・装丁を見た時、昭和40年代のものだと思った。しかし、今から10年程前のものでありこのギャップが面白く、紹介したい一冊として購入した。中味も昭和30~40年代のものに思えてならない貴重な本である。あまり流通していないもので貴重なものといえる。梶原一騎マニアの個人が作成した同人誌。ネットと古書漫画専門店で購入されている。レアな梶原作品を多々紹介している。「若い貴族たち」の生原稿、「長島茂雄物語 炎の讃歌」の再現、漫画ゴラク「追悼特集」の再現などファン・マニアにはたまらない内容である。ただ、限定販売ゆえ現在は入手困難。創刊号を含めて再発行が望まれる。

マンスリー・ムエタイ 創刊号
合気柔術入門 岡本正剛著 高橋華王監修 北欧社

昭和59年



シスコプロモーションジャパン 平成13年雑誌というよりはミニコミに近い冊子である。誌名通りのムエタイ情報誌。インタビュー、試合報告、ランキングなど。ラジャダムナンランキングには小笠原仁と武田幸三の両チャンピオンも載っている。21ページ、オールカラー、380円。販売店の拡販が課題である。

大東流では第一人者の岡本正剛師範による著書。著者による技術書やビデオもださているが、この本は大学正課体育武道シリーズ3として発行されたものだ。つまり、大学の教科書である。それゆえ、第二章の合気柔術の科学的考察は難解である。前篇は理論、後篇は技術という構成。全93ページ。

武格連通信 武格連



武格連という組織があるという。武道・格闘技版元連絡会議というのが正式名称。なんでも、武道と格闘技の出版物を発行している出版社10社でできている。各社の販売部の集まりで書店での格闘技フェアを推進する活動をしているという。この機関誌は、武道と格闘技の新刊情報を全国の主要な書店に配っているもので、一般には入手不可。2~3ヶ月後の近刊情報と各出版社の編集後記が見どころである。全6ページ、月刊。

玄和 第9号 日本空手道玄和会 昭和48年
玄和 第11号 日本空手道玄和会 昭和51年



古書のメッカ・神田神保町で入手。南郷継正率いる空手道玄和会の機関誌。それぞれ128ページあり、空手団体の機関誌としては立派なものである。かつて、月刊空手道での連載や三一書房の空手理論書は知られているが、玄和会の組織や南郷継正会長のことは意外と知られていない。この機関誌には、南郷会長が写真でもでており(本名の高橋洋一で)、大会報告、昇段論文、技術解説、道場紹介、そして会員名簿と住所録まで載っている。市販されないものであり、とても貴重な資料である。

獣道 影丸譲也著 実業之日本社 平成13年



「空手バカー代」の作画で知られる影丸譲也の最新作。「漫画サンデー」に連載された単行本化。地上最強の無手勝流である獣道がテーマ。それは、山中で山伏に育てられ、密教独自の格闘技を身につけた主人公が、大坂で大暴れする話し。最近の格闘技界事情のくだりで、大山倍達や芦原英幸、石井和義もでてくる。(影丸先生、そして京都のMさん、どうもありがとうございます。)

無学盲目体当たり 話の特集発行 1979年
空手道入門 昭和37年



無学盲目体当たり 花柳幻舟・長谷川きよし 話の特集発行
1979年

舞踏家の花柳幻舟と盲目の歌手長谷川きよしが各界の著名人と対談する対談集。極真カラテの大山倍達とも対談。第2回世界大会前で危機感を抱いていることや全空連に対する対抗意識や女性論など語られている。他に政治家の江田五月、落語家の立川談志など10人が登場。Iさん、情報をありがとうございました。

(2001/06/01)
空手 数見肇著 旺文社発行 平成13年
これがカンフーだ！ 佐藤金兵衛著 教育出版
センター発行 昭和59年



空手道入門 長谷義勝著 文進堂発行 昭和37年
著者は糸東流の摩文仁賢和の門下生。典型的な空手技術書。写真入り解説。表紙欠。長崎の老舗古書店で入手。極真チャンピオンによる空手入門技術書。ジュニアスポーツシリーズ全10巻の一冊。子供向けながら内容は濃い。書店では、A5版ソフトカバー版の1100円が並んでいるが、学校・図書館向けかハードカバー版の1600円のものも存在しています。

以前、所有していたのだが何かの理由(1.人に貸して戻ってこない、2.失くした、3.売ってしまったの3つにだいたい当てはまる)で手許に無くなってしまった本で、どうしても欲しくなるものが常にある。これはまさにその一冊だ。この本を古本屋に売ってしまったのだ。当時、少林寺ブームであり、ベースボールマガジン社から「中国武術」という雑誌がでており広告も載っていた。内容は、子供向けにカンフーを紹介するもので表紙がなんともインパクトがある。最近、改定版で表紙も変わって発行されていたことも知り、まだまだ探究書の道は休めない。大阪のKさん、ありがとう。

格闘技の描き方(2001/05/03)



原田久仁信監修 グラフィック社
格闘書としては、異例のものである。格闘マンガを書くための参考書である。柔道、剣道、空手、ボクシング、ケンカと項目があり参考絵が多々描かれている。

柔術秘伝図解(2001/04/17)



柔術秘伝図解 横野鎮次著 尚武館 明治27年発行
なんとといっても100年以上前の本である。このセピア色の表紙をとくと味わって下さい。
内容は、柔術の技を図解入りで紹介している。詳細はなにかの機会で紹介する予定です。

格闘技雑誌考(2001/04/03)

空手古書道連盟は発売される雑誌にも購入して目を通して
いる。毎月、隔月ペースで発行されるからじっくりとは読
んでいない。関心をひいた特集記事やインタビューは読ん
でいる。揚げていけば、「空手道」は老舗で団体や個人の
技術や紹介に特徴がある。団体のもとして「ワールド
手」、「極真魂」があり昇段、昇級者名まで載っている。
大道塾の「大道無門」が書店販売までしていたが、休刊に
なったという。硬式空手が中心の「国際空手通信」は2号以
降発行されていない。格闘技雑誌も増えた。「格闘技通
信」、「ゴング格闘技」、「フルコンタクトKARATE」
「SRS-DX」、「格闘Kマガジン」、2001年1月から発行さ
れている「格闘！伝説」と多くでている。これらは、試合
結果の記事とインタビューが主で情報誌の感じが強い。

フルコンとKマガジンはやる側を意識して技術ものが売りである。他に、
武道でいえば「秘伝」、「武道」、「武神」がある。特に「秘伝」は芦原
カラテ、拳道会、心道会など空手の特集が増えて、お気に入りである。
中国武術ものは「武術」と「武芸」の2誌。他にも合気道、柔道、剣道、
少林寺拳法、ボクシングとあるが立ち読みもしていない。又、以前はあつ
たがミニコミが現在は「FIAT」しかなくなってしまったのは寂しい。ひ
とことで武道・格闘技といってもこれだけ媒体があると追い続けるだけ
でも大変である。
まして、買って保存していくとなると・・・ところで、インターネットの
ホームページも無限にあり雑誌以上の内容のものもみられます。

梶原一騎伝・空手道歴史年表



梶原一騎伝 新潮文庫 平成13年3月発行 743円
1995年に発行された「夕やけを見ていた男 評伝梶原一騎」の単行本が文
庫として発売されました。徹底した取材と調査によって作られた名著が復
刻。補筆されているので改めて読むべし。

空手道歴史年表 外間哲弘編著 沖縄図書センター 2500円 A5版 150
ページ
凄い本が出版された。八重洲ブックセンター本店でこの書を見つけた時、
嬉しくて震えてしまった。空手古書道連盟が研究課題としている空手年表
を発行された書物も含めてまとめられている。編著者である外間哲弘先生
は沖縄に在住で「沖縄県空手博物館館長」でもある。特に戦後は流派・団
体が増えたが幅広く網羅されている。巻末には沖縄の道場所在地一覧が各
流派ごとに載っている。この本は「空手道出版目録」に次ぐ評価するべき
文献であろう。

月刊 空手道 空手時報社



昭和53年1月
「ブドウショップ」にて入手した。現在、発行されている福昌堂のもの
とは別。戦後からつくられた雑誌で、空手道研修会の金城裕師範によるも
のです。この号は、久しぶりに復刊された号。雑誌づくりは大変であり、
「自分の自宅を売ってまで、この雑誌を作った。」と苦労話を聞きました。
この全号を合作したものを沖縄の榕樹社から発売されている。25000
円。

新体道



新体道 今世紀最大の体技の誕生 青木宏之著 新体道・総合武道連盟 昭和51年この本も団体が制作した自費制作書。新体道のあらましと技術が「行為編」として写真入りで解説。新体道の初期の本。

What is



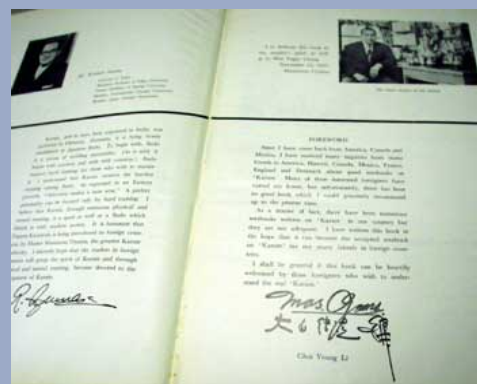
Karate?



極真空手の創始者大山倍達氏の手によるWhat is Karate?このページをごらんになる方でこの本を知らない方はいないのであるだろうか？大山空手がアメリカでそして世界に知られる起爆剤になった記念すべき本である。もっともそれは「日貿出版」版になってからで、その前の東京ニュース社によるものがこの写真の本である。出版部数も少なく売り上げも芳しくなく大山館長も自ら売り込みにあちらこちらに足を運び何足も革靴をつぶす苦勞をされたそうである。その苦勞もその後の爆発的売れ行きで報われ空手がカラテ、karateとして世界に知られるようになり今の極真会館の基礎を作るのに大いに貢献した。



ここに紹介するWhat is Karateはその中の1冊で珍しい本である。偶然に「社会科」の問題の解答が混入したものである。いわゆる「珍本」の類で、1999年ロス・アンジェルスの本屋で見つけ購入したものである。この珍しいWhat is Karate?いまは名古屋にお住まいのYさんの手許で「余生」を送っている。その昔この本を購入したアメリカ人はこのページを見てどう思ったのであろうかと想像すると可笑しくなる。まさにWhat is Karate?と思ったに違いない。



養秀会



実戦空手養秀会 山本勝王著 養秀会総本部 昭和58年空手団体が作った自費制作書。B5上製版で英語訳までついてます。養秀会空手の技術と団体の歴史、山本勝王師範の足跡、指導員の紹介と立派な空手書です。山本勝王といえばベンガルトラとの死闘で有名であるが、その模様も詳しく紹介されています。この本を、3日後に閉店するという宇都宮の古書店で入手しました。